

排出量の外部検証／保証の傾向



SGSジャパン株式会社

認証・ビジネスソリューションサービス

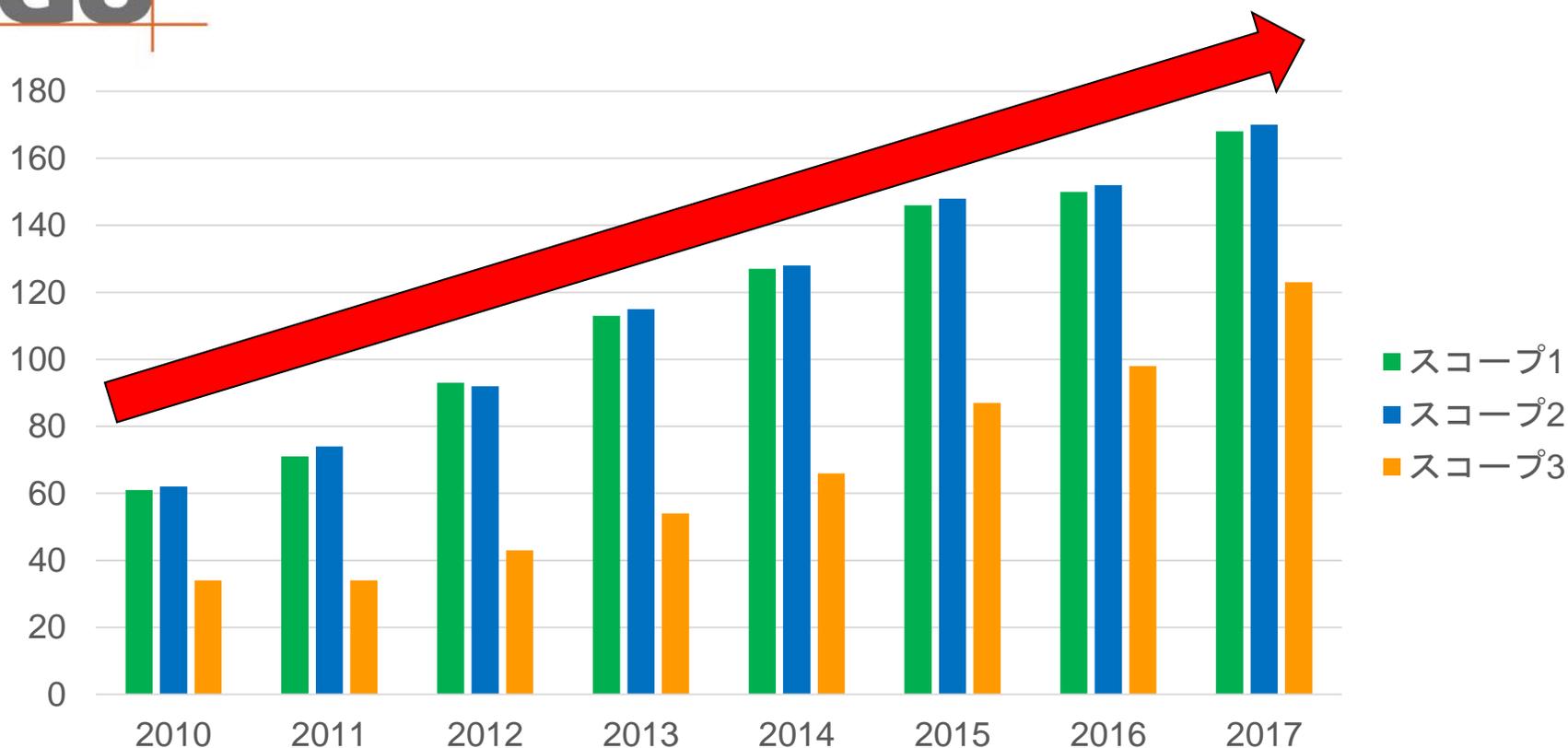
事業部長 竹内 裕二

2017年10月24日

WHEN YOU NEED TO BE SURE

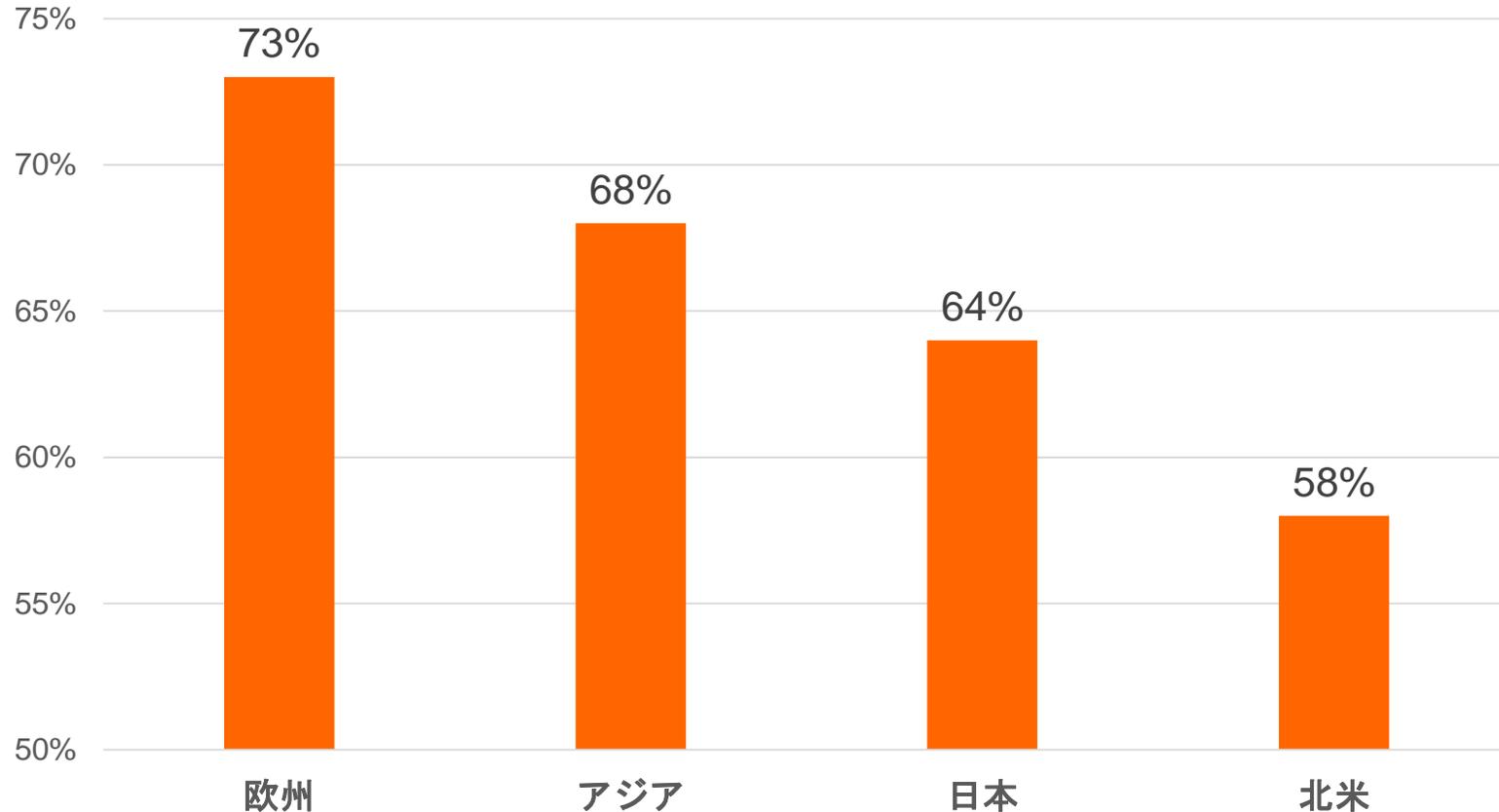
SGS

検証を受けている企業数の推移



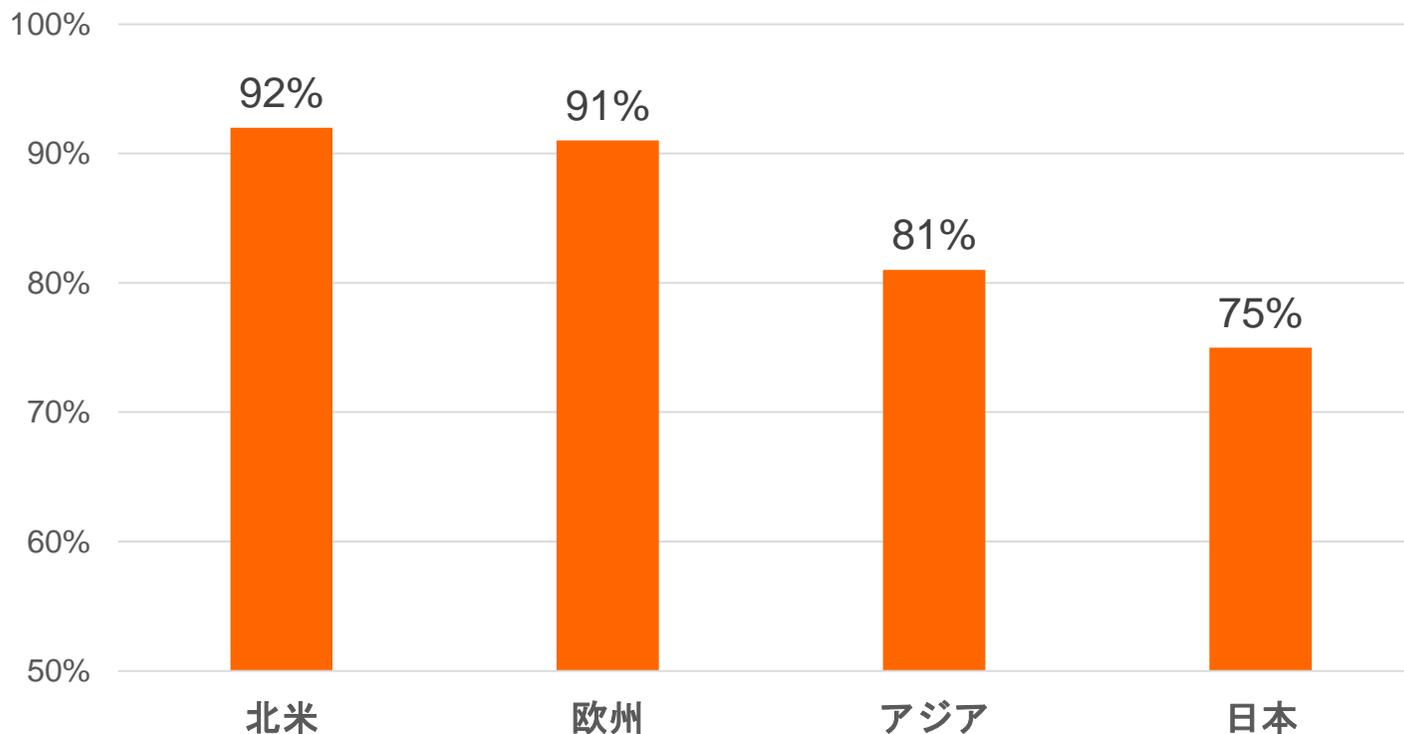
- スコープ1, 2, 3ともに右肩上がりで増加している。
- スコープ1, 2: 2016年比で12%増(回答企業の約64%が検証を受けている)
- スコープ3: 2016年比で26%増(回答企業の約46%が検証を受けている)

回答企業のうち、検証を受けている企業割合(スコープ1, 2平均)



- 欧州73%、アジア68%、北米58%
- 日本の割合は64%と、世界の水準に近づきつつある。

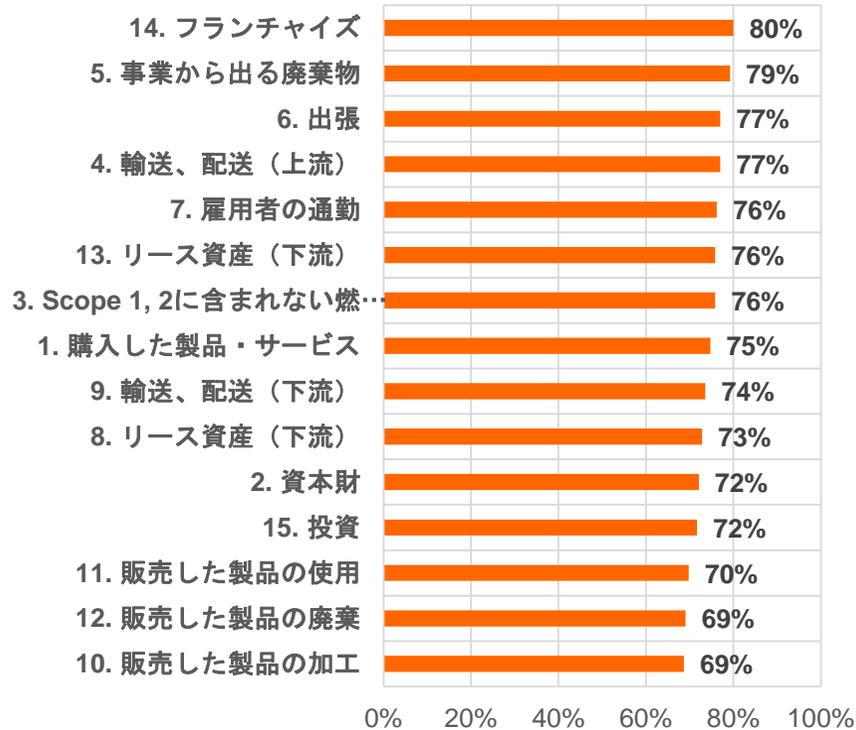
検証を受けている企業のうち、報告排出量の**70%以上**の 検証を受けている割合(スコープ1, 2平均)



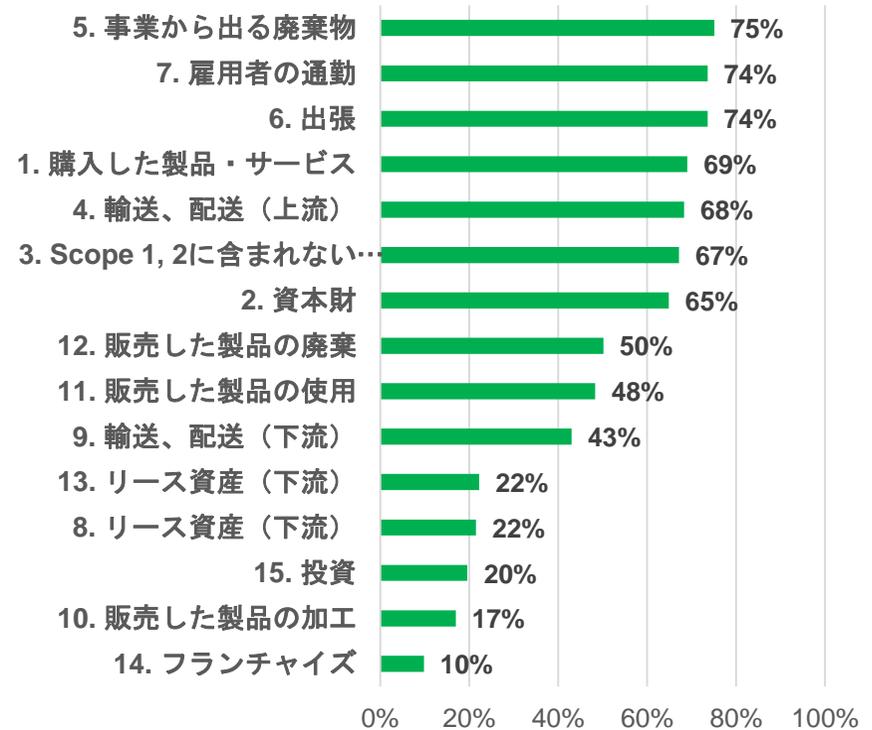
- 欧州・北米は、検証を受けている企業の90%以上が、報告排出量の70%以上の検証を受けている。
- 日本の割合は75%(2016年は73%)
 - 比較的狭い検証範囲となる東京都/埼玉県検証のみを採用している企業割合が多いため。

スコープ3の評価・算定状況

カテゴリー別評価状況



カテゴリー別算定状況



●全15カテゴリーについて、重要性に関わらず「算定済み」、または「重要でなく説明あり」を選択された企業は、2016年比で31%増、2015年比で50%増となり、回答企業の約70%以上であった。

排出量検証の重要性

- 検証を受けた割合でスコアに差異
- Aリストの条件



投資家の要望

- 排出量データの「信頼性」に第三者の検証を求めている。
⇒ 本当に正しいか否かの判断を「検証声明書」で確認。
- 投資判断に財務情報以外のデータを利用し、その信頼性を厳格に確認する投資家が増えている。

グローバル

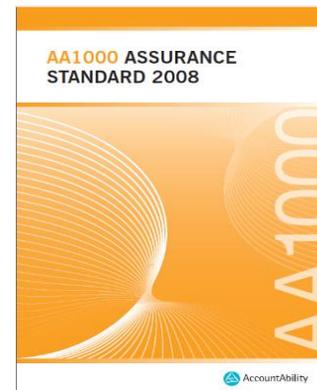
- ・CDP
- ・FTSE4Good
- ・DJSI (Dow Jones Sustainability Index) 等

国内

- ・GPIFがPRI(国連責任投資原則)に署名
- ・日本版スチュワードシップ・コード
- ・コーポレートガバナンスコード
- ・環境情報開示基盤整備事業

■ 気候変動プログラム

- CSR/環境報告書の第三者保証(AA1000AS), GHG検証(ISO14064)
- 国内制度におけるGHG第三者検証
- 東京都、埼玉県排出量取引制度検証
- SBT申請支援サービス
- カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム



■ 森林プログラム

- FSC® /PEFC/SGEC森林管理認証及びCoC認証
- 持続可能性に配慮した木材の調達基準監査プログラム



The mark of responsible forestry



■ 人権・労務監査

- OHSAS18001
- Sedex/SMETA監査



ご質問、お問い合わせは

SGSジャパンは気候変動対策をはじめとする、
多様なサービスを提供し、
持続可能な社会の実現に寄与して参ります。

SGSジャパン株式会社
横浜保土ヶ谷区神戸町134
横浜ビジネスパーク
ノーススクエアI 3階

認証・ビジネスソリューションサービス

Tel: 045 330 5010
Fax: 045 330 5011
jpssd@sgs.com